

日産財団ニュースレター (第53号)

2019年11月発行

◆ 2018年度助成校・団体の活動紹介

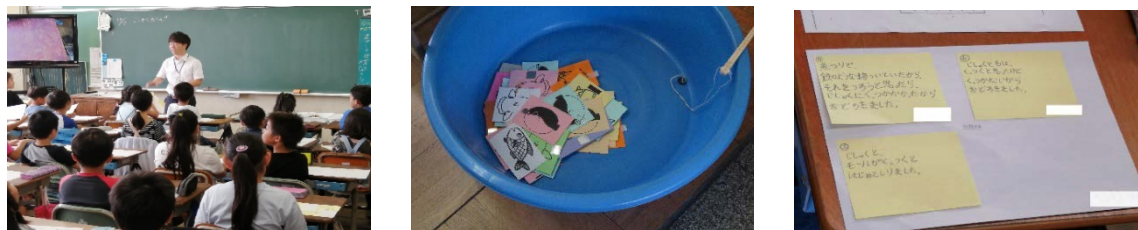
2019年9～10月に訪問した学校・団体の実践を紹介します。

福島県 いわき市立好間中学校



2年生「呼吸のはたらき」の単元を知識構成型ジグソー法で実施している様子。①外呼吸 ②肺が膨らむ仕組み ③細胞の呼吸 の3つのエキスパート活動班に分かれ、前時までに自分たちが調べた内容のキーワードを抽出している(写真左・中央)。その後、①②③のそれぞれの生徒を組み合わせた小グループに分かれ、議論し合いながら呼吸のしくみの説明を考えている(写真右)。

神奈川県 相模原市立相原小学校



研究発表会の公開授業での3年生「じしゃくのふしぎ」の授業の様子。前時で行った磁石を使ったおもちゃでの遊びのふりかえりを通して、浮かんだ疑問や結果を付箋に記入し、その後クラス全体で発表し共有した。予想から結果、考察までを「一枚ポートフォリオ」と呼ばれるシートに記入することで、実験を通しての自分の考えの変化に気づくことができるのが狙いとなっている。

神奈川県 横須賀市立大塚台小学校



3年生「動物のすみかをしらべよう」の授業の様子。前時の散策活動をベースに、①見つけた生きもの ②どこにいたのか ③その場所にいた理由 を付箋に記入し、ワークシートに貼り付けている(写真左)。グループでまとめた結果を、書画カメラを使って電子黒板に投影し、クラス全体で共有(写真中央)。研究協議会では、良かった点、課題点、改善案を各グループで出し合っている(写真右)。

福島県 田村市立常葉中学校



福島県中学校教育研究協議会 県中・県南大会での3年生理科「地球と私たちの未来のために」の授業の様子。班ごとに選択した課題(①植物の成長と二酸化炭素の濃度の関係 ②カタクチイワシの胃の内容物の調査 ③土中の微生物の役割)について、ロイロノートスクールを使って実験結果を発表し、身近な生物の食物連鎖や自然環境との関わりについて理解を深めた。写真右は授業後の研究協議会。

神奈川県 横浜市立秋葉小学校



5年生「実や種子のでき方」の授業。植物の種類によって花粉の形や大きさなどが変わるので観察するため、4種類の花を用意(写真左)。一人一台与えられた顕微鏡を使用し、直接接眼レンズを覗いたり、iPadを顕微鏡に近づけて拡大画像を撮影したり(写真中央)しながら、花粉の形をワークシートにスケッチし、気づいた特徴を記載している(写真右)。

教えて！ 日産財団ってどういうところ？ どんな人たちが働いているの？



次回は
未来人材開発
グループです。
お楽しみに！

新シリーズ
日産財団の紹介

第2回 小中学校教育支援グループについて

理科教育助成、理科教育賞、リカジョ賞に関わる業務全般を運営しているグループです。日頃のメール連絡や、贈呈式、助成者面談、助成校訪問など、皆さんと一番身近にいる私たちです。いつも明るくチームワークを大切に！を心がけています。このニュースレターも楽しみながら私たちが作っています。

教育委員会や小中学校の先生方のおかげで理科教育助成はここまで発展することが出来ました。皆さまに愛される財団を目指します。



プログラムマネージャー
沖 玲子

他者紹介

- ◆ 呑むほどにがんばる仕事人
- ◆ 気配りの達人
- ◆ 海でSUP、街中でランニングなスポーツウーマン



チームリーダー
松下 献

他者紹介

- ◆ 10月26日結婚しました
- ◆ 企画・イベントの達人
- ◆ 頼りにしてます劇団座長
- ※ 本当に座長してます



チーフ
定岡 亜希子

他者紹介

- ◆ 行動力抜群
- ◆ おもてなしの達人
- ◆ 何でもこなす美食家ママ

助成校の皆様の実践が円滑に進むよう全力でサポートさせていただきます。